

第150号

2020.8.1
(令和2年)

ひこね市議会だより

令和2年5月臨時会(5月18日)

令和2年6月定例会(6月1日～6月22日)

- 5月臨時会で決まったこと…2～3
- 6月定例会で決まったこと…4～8
- 個人質問……………9～18
- お知らせ……………8、19～20



おかげさまで
150号を
迎えました

インターネット中継やFacebookは

彦根市議会 で検索

— 決定しました —

5月臨時会で議長、副議長、監査委員を選任しました。
また、各委員会委員の構成は以下のとおりです。

本年は中央町仮庁舎にて議会を開催しています。コロナ禍において市民の皆様が安心して暮らしていただけますよう取り組んでまいります。



議 長
安澤 勝議員



副 議 長
野村 博雄議員

幾多の課題を抱える本市において、凛とした議会運営に努め、市民の皆様のために前進できますよう、不惜身命尽力してまいります。

◇ 委員会の構成 ◇

(令和2年5月18日現在)

企画総務消防常任委員会	◎ 杉原 祥浩	黒澤 茂樹	林 利幸	獅山 向洋
	○ 中野 正剛	北川 元気	森田 充	谷口 典隆
福祉病院教育常任委員会	◎ 赤井 康彦	小川 吉則	角井 英明	伊藤 容子
	○ 辻 真理子	堀口 達也	馬場 和子	野村 博雄
市民産業建設常任委員会	◎ 上杉 正敏	長崎 任男	中川 睦子	小川 隆史
	○ 和田 一繁	安澤 勝	矢吹 安子	森野 克彦
予算常任委員会	◎ 馬場 和子	黒澤 茂樹	辻 真理子	角井 英明
	○ 北川 元気	森田 充	上杉 正敏	獅山 向洋
	森野 克彦	小川 隆史	長崎 任男	赤井 康彦
議会改革特別委員会	◎ 中野 正剛	黒澤 茂樹	北川 元気	森田 充
	○ 馬場 和子	小川 隆史	小川 吉則	角井 英明
議会運営委員会	◎ 長崎 任男	中川 睦子	馬場 和子	上杉 正敏
	○ 杉原 祥浩	赤井 康彦	和田 一繁	北川 元気
議場開放促進委員会	◎ 赤井 康彦	堀口 達也	上杉 正敏	伊藤 容子
	○ 杉原 祥浩	長崎 任男	角井 英明	小川 隆史
広報委員会	◎ 馬場 和子	林 利幸	和田 一繁	森野 克彦
	○ 北川 元気	中野 正剛	小川 吉則	安澤 勝
広聴委員会	◎ 辻 真理子	獅山 向洋	野村 博雄	森田 充
	○ 谷口 典隆	黒澤 茂樹	中川 睦子	矢吹 安子
議会情報公開調整委員会	◎ 杉原 祥浩	長崎 任男	馬場 和子	
	○ 矢吹 安子	谷口 典隆		

※◎＝委員長 ○＝副委員長

5月臨時会の結果

5月18日（月）の5月臨時会の結果についてお知らせします。一般会計等補正予算案5件、条例関係3件、その他議案3件を原案のとおり可決・承認・同意しました。また、会議案1件を可決しました。

新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を和田一繁議員とする議案に対し、全会一致で同意を与えました。



議案第46号から議案第55号に対して4名（獅山向洋議員、堀口達也議員、辻真理子議員、角井英明議員）から、会議案第1号に対して2名（獅山向洋議員、堀口達也議員）から個人質疑がありました。

5月臨時会 議案の審議結果

会期：5月18日（月）

■全員賛成で可決・承認・同意した議案等

項目	番号	件名
議案	46	専決処分につき承認を求めることについて（令和2年度（2020年度）彦根市一般会計補正予算（第1号））
	48	令和2年度（2020年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	49	令和2年度（2020年度）彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算（第1号）
	50	令和2年度（2020年度）彦根市病院事業会計補正予算（第1号）
	51	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例等の一部を改正する条例）
	52	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）
	54	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
	55	彦根市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案
	56	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	3	損害賠償の額の決定について
	4	和解および損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案等

（○：賛成 ●：反対 -：議長）

項目	番号	件名	結果	辻	中川	角井	獅山	堀口	北川	上杉	中野	杉原	谷口	和田	野村	森野	林	森田	小川	矢吹	赤井	小川	黒澤	伊藤	馬場	長崎	安澤
				真理子	睦子	英明	向洋	達也	元氣	正敏	正剛	祥浩	典隆	一繁	博雄	克彦	利幸	充	吉則	安子	康彦	隆史	茂樹	容子	和子	任男	勝
議案	47	令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53	令和2年度における彦根市長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議案	1	彦根市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

6月定例会の議決結果

6月定例会 議案の審議結果

会期：6月1日（月）～22日（月）

■全員賛成で可決・同意した議案等

項目	番号	件名
議案	58	彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例案
	59	彦根市手数料条例の一部を改正する条例案
	60	彦根市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	61	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
	62	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案
	63	彦根市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案
	65	財産の取得につき議決を求めることについて
	66	彦根市農業委員会委員の少なくとも4分の1を認定農業者等または認定農業者等に準ずる者とするにつき同意を求めることについて
	68	令和2年度（2020年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
	69	令和2年度（2020年度）彦根市病院事業会計補正予算（第2号）
	70	令和2年度（2020年度）彦根市水道事業会計補正予算（第1号）
	71	彦根市新型コロナウイルス感染症対策支援基金の設置、管理および処分に関する条例案
	72	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	73	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	74	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	75	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	76	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	77	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	78	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	79	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	80	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	81	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	82	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	83	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	84	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	85	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	86	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	87	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	88	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	89	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	90	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	5	令和2年度（2020年度）一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	6	第33期彦根総合地方卸売市場株式会社事業計画について
	7	第24期株式会社夢京橋の事業計画について
	8	第18期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	9	令和元年度（2019年度）彦根市繰越明許費繰越計算書について
	10	令和元年度（2019年度）彦根市事故繰越し繰越計算書について
	11	令和元年度（2019年度）彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	12	損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案等

（○：賛成 ●：反対 -：議長）

項目	番号	件名	結果	辻 真理子	中 川 睦子	角 井 英明	獅 山 向洋	堀 口 達也	北 川 元氣	上 杉 正敏	中 野 正剛	杉 原 祥浩	谷 口 典隆	和 田 一繁	野 村 博雄	森 野 克彦	林 利幸	森 田 充	小 川 吉則	矢 吹 安子	赤 井 康彦	小 川 隆史	黒 澤 茂樹	伊 藤 容子	馬 場 和子	長 崎 任男	安 澤 勝
議案	57	令和2年度（2020年度）彦根市一般会計補正予算（第3号）	可決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67	令和2年度（2020年度）彦根市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	1	新型コロナウイルス感染による経済対策として「消費税ゼロ」の特別措置を求める意見書案	否決	○	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○



6月22日（月）に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計等補正予算案など予算関係5件、条例関係7件、その他議案22件を審査し、原案のとおり可決・同意しました。

また、意見書案1件を否決しました。

6月定例会の結果

小学校・中学校教育用コンピュータ整備事業

5億7,950万8千円

GIGAスクール構想に係る学習者用端末等整備に要する経費です。

※GIGAスクール構想とは、多様な子どもたちを誰1人取り残すことなく、子どもたち1人ひとりに公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指すものです。

(内訳)	所要額	現計額	補正額
小学校教育用コンピュータ整備事業			
・端末設定委託料	7,305万1千円	－ 0 ＝	7,305万1千円
・GIGAスクールサポーター設置委託料	977万5千円	－ 0 ＝	977万5千円
・備品購入費	3億 853万円	－ 0 ＝	3億 853万円
中学校教育用コンピュータ整備事業			
・端末設定委託料	3,511万2千円	－ 0 ＝	3,511万2千円
・GIGAスクールサポーター設置委託料	402万5千円	－ 0 ＝	402万5千円
・備品購入費	1億 4,901万5千円	－ 0 ＝	1億 4,901万5千円

みんなで応援！ひこねカタログチョイス事業

2億5,475万円

低下した購買意欲や市内業者の営業活動を活性化させるため、市民生活支援と市内での消費量を増やすことを目的に、市民全員に対し、1人当たり2千円相当の商品や飲食サービスの購入券を配布するもので、市民がカタログ掲載品の中から希望する品を選択し、自宅等へ当該商品等が配送される仕組みを事業化するために必要な経費です。

(内訳)	所要額	現計額	補正額
・通信運搬費	1,120万円	－ 0 ＝	1,120万円
・システム改修・封入封緘等業務委託料	1,265万円	－ 0 ＝	1,265万円
・取りまとめ・発注等業務委託料	2億 3,090万円	－ 0 ＝	2億 3,090万円

妊婦特別支援金給付事業

4,781万8千円

出産までの間に不安を持っている妊婦の方が、経済的にも精神的にも安心して出産ができるよう、国の特別定額給付金の基準日である令和2年4月27日時点で妊娠しており、本市に妊娠届出書を提出された方（令和3年1月11日以降の出産予定日の方を除く）を対象に、1人につき10万円の特別支援金を給付するために必要な経費です。

(内訳)	所要額	現計額	補正額
・消耗品費	1万4千円	－ 0 ＝	1万4千円
・通信運搬費	12万1千円	－ 0 ＝	12万1千円
・手数料	6万7千円	－ 0 ＝	6万7千円
・システム開発委託料	61万6千円	－ 0 ＝	61万6千円
・妊婦特別支援給付金	4,700万円	－ 0 ＝	4,700万円

予算常任委員会

令和2年度(2020年度)彦根市一般会計補正予算を可決

予算常任委員会は、6月12日(金)と22日(月)に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審 査】

議案第57号、議案第67号、議案第68号、
議案第69号、議案第70号

【主な質疑】

- 議案第57号に対して
 - Q 金亀公園整備事業の内容や補助率・補助額は。
 - A 老朽化した野球場の解体などで、補助率は45%、補助金額は1億4,857万4,700円。
 - Q GIGAスクール構想に係る端末の選定方法は。
 - A 市としての考えを伝えた上で、県の協議会で決定。
- 議案第67号に対して
 - Q カタログチョイス事業の目的、内容および掲載店舗の見込みは。
 - A 市民生活支援と市内での消費量増加が目的。2千円相当の商品等をカタログから選択し、自宅等へ配送するもので、300店舗を見込んでいる。

【主な討論】

- 議案第57号に対して
 - 反対 金亀公園整備事業に8億円も計上されたことは過度な出費であり、既存設備を活用するという方針にも反する。また、GIGAスクール構想では、仲間や先生とゆったり学べる時間を大切にすべきで、整備のための費用は少人数学級を可能にする教員の増員に使うべきであることから反対する。
- 議案第67号に対して
 - 反対 図書券を配るよりも学校図書を充実させるべき。また、計上するべき予算が提案されていないことから反対する。
 - 賛成 県内他市と比べ、遜色ない補正予算の額であり、賛成する。
 - 賛成 迅速な対応で雇用を支え、子育て支援や避難所対策を講じるための予算であり賛成する。

【結 果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

彦根市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案等、議案3件を可決

企画総務消防常任委員会は、6月15日(月)と22日(月)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審 査】

- ・議案第63号、議案第65号、議案第71号

【主な質疑】

- 議案第63号に対して
 - Q 機能別消防団員に退職報償金の謝礼はなかったのか。
 - A 昨年度から設けており、1年を経過していないので、支給の対象になっていない。
- 議案第65号に対して
 - Q 古い消防自動車は、どのように処分するのか。
 - A 譲渡についてホームページで案内してい

る。海外寄贈の要望があれば、その方法も含めて処分を進めていく。

【結 果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

【所管事務調査】

- 本庁舎耐震化整備事業について
 - Q 現在の工事の進捗状況は。
 - A 令和3年3月19日完成に向けて、予定どおり進んでいる。
 - Q 工事の管理は、どこがしているのか。
 - A 現在は彦根市の都市建設部がしている。

福祉病院教育常任委員会

GIGAスクール構想に伴う校内LAN整備等の 工事請負契約を可決

福祉病院教育常任委員会は6月16日(火)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第64号

【主な質疑】

○議案第64号に対して

- Q 既に校内LANは設置されているが今回新たに整備されるLANとの違いは。
- A 既設の校内ネットワークについては老朽化しており、通信速度が遅く動画再生等が困難な場合が多い。今回、整備される校内LANは、全ての児童生徒に1台の端末が整備されることを前提として、高速大容量の通信ネットワークを構築することが目的。
- Q 契約方法を随意契約(公募型プロポーザル)としているのは。
- A 表記は随意契約ではあるが、公募型のプロポーザル方式であり、実際プロポーザルの中で審査を行い採点をして評価をした。

Q 特別教室等にも無線アクセスポイントは設置されるのか。

A 全ての教室および特別教室、体育館に無線の配備を行う。

Q 資材不足が心配されるが工事に影響はないのか。

A 仮契約の会社のプレゼンテーションにおいて確認しており、問題ないとしている。

【主な討論】

○議案第64号に対して

反対 国が今年度中という期限をつけて全国一律に事業を進めること、大手業者にばかり仕事が行くような形であること、教員の10万人増員や教育条件の抜本的整備を進めることが先決であるとの3点から反対する。

【結果】

・議案は原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根市国民健康保険条例・介護保険条例の一部を改正する 条例案等、議案3件を可決

市民産業建設常任委員会は、6月17日(水)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第61号、議案第62号、議案第66号

【主な質疑】

○議案第62号に対して

Q 介護保険料の減免を受ける理由を証明する書類とは、どのようなものか。

A 一定期間の収入が見通せる、帳簿や勤務表等。

○議案第66号に対して

Q 農業委員会委員の任命に著しい困難を生ずる状況とは。

A 認定農業者数が国の定める規定でいう152名の約半数しかないという状況である。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決および同意



議会改革特別委員会

滋賀大学経済学部との連携を継続することを決定

6月1日に開催した委員会では、滋賀大学経済学部との連携を継続するかどうかを協議した。

平成29年8月1日に滋賀大学経済学部との連携および協力に関する協定を締結し3年、これまで、大学での講義や意見交換、議会傍聴の実施に加えて、滋賀大学生をファシリテーターとした議会報告会の開催など双方に一定の成果がみられる。

今年度は新型コロナウイルス感染症が発生した影響で、例年通りの授業が行えるかは不確定ではあるが、滋賀大学の柴田先生には新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みながら、前向きに連携授業を行う検討をいただいている。

議会改革特別委員会としても今後も連携を継続したいとの思いがあり、8月1日以降も連携を継続することを決定した。

6月定例会追加議案に対しての個人質疑

追加で提出された議案第67号から第90号に対して、6名（小川吉則議員、谷口典隆議員、伊藤容子議員、辻真理子議員、獅山向洋議員、林利幸議員）から個人質疑がありました。

新型コロナウイルス感染症に関連する市独自の支援策

世帯・個人

対 象	内 容		問い合わせ先
新型コロナウイルスの影響で生活にお困りの人	【生活支援緊急相談窓口】 生活の不安などの相談を伺い、必要な支援につなげます		コールセンター ☎0120-66-3792
全世帯	1人につき2千円分のカタログギフト（市内のお勧め品、食事券など）を市内全世帯へ配布		地域経済振興課 ☎30-6119 FAX24-9676
子ども・子育て世帯	妊婦	妊婦1人につき10万円を支給（4月27日時点で妊娠し、本市に妊娠届出書を提出した人令和3年1月11日以降の出産予定日の人を除く）	健康推進課 ☎24-0816 FAX24-5870
	子ども	子ども1人につき1万円、高校生世代は5千円増額して支給（平成14年4月2日から令和2年6月30日までに生まれた人）	子ども・若者課 ☎49-2251 FAX26-1768
		小・中学生1人につき図書カード5千円分を配布	学校教育課 ☎24-7973 FAX23-9190
	ひとり親世帯	児童扶養手当支給対象の子ども1人につき1万円を加算支給	子育て支援課 ☎26-0994 FAX26-1768
本市と給水契約している全ての人	水道基本料金の免除（7月検針分以降、4カ月間）		上下水道業務課 ☎22-2722 FAX22-5433
国民健康保険被保険者	国民健康保険料の免除 6月（第1期）と7月（第2期）		保険料課 ☎30-6145 FAX22-1398
税金などの支払いが難しい人	上下水道料金の支払猶予		上下水道業務課 ☎22-2722 FAX22-5433
	国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の支払猶予		保険料課 ☎30-6145 FAX22-1398
	市税の支払猶予		納税課 ☎30-6109 FAX22-1398
	市営住宅家賃の減額・支払猶予		建築住宅課 ☎30-6123 FAX24-8517

事業者

対 象	内 容		問い合わせ先
滋賀県の休業要請に協力した事業者	中小企業など：一律20万円 個人事業主：一律10万円 県の制度とは別に支給 ※県の休業要請対象施設のうち、県制度に該当しない事業者も一部適用		地域経済振興課 ☎30-6119 FAX24-9676
ウイルス感染対策のための設備投資を行う事業者	感染症対策のための設備投資に最大10万円補助（空気清浄機、パーティション、換気設備など）		
本市と給水契約している全ての事業者	水道基本料金の免除（7月検針分以降、4カ月間）		上下水道業務課 ☎22-2722 FAX22-5433
税金などの支払いが難しい事業者	上下水道料金の支払猶予		上下水道業務課 ☎22-2722 FAX22-5433
	市税の支払猶予		納税課 ☎30-6109 FAX22-1398

※状況により、掲載内容は変更となる場合があります。

市政について
質す!

6月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

ホームページから見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

QRコードから見る

QRコードを読み取っていただくと、それぞれの動画ページに繋がります。

ライブ配信・録画配信の視聴について(本会議のみ)

ライブ配信は、本会議を彦根市役所中央町仮庁舎で実施する間、音声配信のみとなります。録画配信は、休憩時間等をカットし、編集して、配信する予定です。※委員会については、配信しておりません。

彦根市役所本庁舎での開催となり次第、本会議・委員会ともに映像での配信を行う予定のため、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。配信については、「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。

<http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/>



長崎 任男議員
市民産業建設常任委員会



医療従事者や病院への良い評価
や激励の声は



様々な形で支援や感謝の声を
いただいている



その他の質問

- ・水道料金減免による減収分は一般会計から繰り出す必要があるのでは
- ・減免措置の方法は地方公営企業法から見て適切か

Q 県の重点医療機関に指定されるまでの経緯は。

A 今般の新型コロナウイルス感染症の拡大の過程において、県から個別に緊急的・臨時的な要請があり、感染爆発等による地域の医療崩壊を防ぐために、緊急的に「重点医療機関」を引き受ける必要があると判断した。

Q 医療従事者や病院に対する良い評価や激励の声は。

A 様々な形で支援や感謝の声をいただいております。医療従事者や病院スタッフの非常に大きな励みとなっている。

玄関前で検温、問診を実施する彦根市立病院▶





小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q 生ごみ減量化は市のごみ減量化に資するか

A 生ごみの資源化はごみ減量化を推進する



その他の質問

- ・空き家の活用の推進について
- ・彦根市再犯防止推進計画策定の検討状況について
- ・ネットワークセンターの設置について

Q 彦根市の収集ごみのうち、燃やせるごみ、生ごみの割合および水分の割合は。

A 彦根市の収集ごみの直近3年の年平均値は、36,234 tで、収集ごみに占める燃やせるごみの割合は77%。性状分析調査結果に基づく数値として、燃やせるごみのうち、生ごみの占める割合は48%。生ごみに含まれる水分の割合は89%と推計される。

Q 彦根市の収集ごみで、生ごみの資源化がごみ減量化となるか、また、水分が多いことから、現焼却炉の延命化の観点からも、水分の多い生ごみの資源化はごみ減量化に有効か。

A 生ごみの減量化に取り組むことが、ごみ減量化を推進することとなり、また、水分を燃焼させずにすむことから、現施設の延命化を図ることにもなる。



▲生ごみ処理バケツ



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市の高齢者虐待件数は

A 令和元年度では通報が36件、認定が10件



その他の質問

- ・介護従事者に対する利用者からの暴言・暴力について
- ・新型コロナウイルス感染症に対して

Q 高齢者虐待の通報および相談は誰からなのか。

A 虐待の通報および相談は、主にケアマネジャー、家族や親族、警察、虐待を受けた本人からとなっている。

Q 彦根市の過去3年間の高齢者虐待件数は。

A 平成29年度は通報件数が38件、虐待と認定したケースが21件。平成30年度は通報が59件、認定が21件。令和元年度は通報が36件、認定が10件である。

Q 虐待をしてしまった家族・職員等への対応は。

A まずは本人や家族と面接を重ねて信頼関係を築くところから始める。その後本人の同意を得ながら支援する。

介護職員等については、施設管理者や職員、利用者からそれぞれ聞き取り調査を行い、どこに問題があるのかを洗い出す。そこから施設へ改善案を提示し改善を求める。



▲高齢者虐待のチラシ



杉原 祥浩議員
企画総務消防常任委員会

Q 児童遊園の定義とは

A 児童福祉法に規定する 児童厚生施設の1つ



その他の質問

- ・国スポ・障スポ大会のボウリング競技を彦根市で開催する理由は
- ・今年度開催の鹿児島国体は延期されるのか

Q 児童遊園の定義とは。

A 児童福祉法に規定する児童厚生施設の1つ。

Q 市内の児童遊園数は。

A 彦根市が管理する市立の児童遊園は、5園。

Q これまで児童遊園に除草剤を散布した事例は。

A これまで、市で直接除草剤を散布したことや、委託先に除草剤を使用するように依頼したことはない。

Q 今回、高宮児童遊園に除草剤散布を許可した理由は。

A 地元の方が自主的に取り組んでおられる活動であり、担い手が減少しつつある中で、こういった活動を尊重したいと考えた。

Q 今後の方針は。

A 実施前の十分な地元への周知と配慮が足りなかったと重く受け止めており、児童遊園をより安心して利用していただくため、今後は、除草作業の際には除草剤の使用はしないよう委託先も含め周知徹底していく。



▲高宮児童遊園



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q 介護人材を増やすための 重点施策は

A 福祉の職場と求職者との マッチングを行う



その他の質問

- ・デフレ化に対する市の経済対策は
- ・おうち外食応援団事業の経済効果は
- ・市民や事業者への早急かつ手厚い経済対策を

Q 介護人材を増やすための市の重点施策は。

A 福祉の職場と求職者とのマッチング事業を行う。

Q 介護施設のバリアフリー化、老朽化、危険な箇所への対応は。

A バリアフリー化は全ての施設で対応済み。老朽化により改修が必要な箇所や機器は、緊急性が高いものから予算措置を図り、年次的に修繕に取り掛かっている。危険な箇所には、火災報知器や空調の故障などがあり迅速に修繕を行っている。

Q 介護施設ではマスクや手袋、フェイスシールドなどの感染防御資材は足りているのか。

A 感染が発生した場合、備蓄に不安があるとの意見があった。県の動向も踏まえて、彦根愛知犬上介護保険事業者協議会と連携し、事業者が必要な感染防御資材を確保できるように支援していきたい。



▲南デイサービスセンターの介護用入浴機器



馬場 和子議員
福祉病院教育常任委員会

Q コロナ対応での
職員の働き方の変化と今後は

A ワークスタイル部会で練り
収束後も継続する



その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症対策と今後の見通しについて
- ・自治会等の行事や事業への影響と今後の見通しについて

Q 感染拡大予防のために取られた働き方の手法の検証は。

A 限られた時間で制度の検討を始めたため不十分な点もあったが、随時検証し改善してきた。

Q 職員の働き方改革に寄与したのか。

A 分散勤務と在宅勤務の中で改めて仕事の段取りなどを考えたり、会議等の開催見直しなど効率的で合理的な会議のあり方を考える機会になり、職員の働く意識に変化をもたらした。

Q 今後の方向性は。

A テレワークや時差出勤、オンライン会議など多様な働き方を推進するため、市長を本部長とした働き方・業務改革推進本部で議論し、全庁的な意思決定を行い進めていく。

Q 改革を早急に進めていくための方策は。

A まずは総務部長を部会長とした同推進本部ワークスタイル部会を早急に開催し、実践へつなげていく。



▲多様な働き方の一例



上杉 正敏議員
市民産業建設常任委員会

Q ICTシステムの取組を
支援しては

A ICTシステムの
効果について研究する



その他の質問

- ・感染拡大から市民を守る取組は
- ・生活・雇用・事業を守る取組は
- ・地域経済を回復させる取組は
- ・危機管理から見る取組は

Q 子ども施設向けICTシステムを取り入れた保育所の現状は。

A 市内の民間保育所24園中17園が、平成28年度に国の補助事業である業務効率化事業を活用し、保育士の業務負担軽減に資する機能を有した保育業務支援システムを導入している。

園児の管理機能や指導計画、台帳と連動した保育日誌の作成機能等があり、手書きの書類作成の手間が省け効率化につながったとの意見があった。

Q 彦根市でも取組を支援しては。

A 保育士の人材不足の中、このような取組は参考になると考えている。先進事例の研究を行い、現在システムを導入されていない園の意見も伺いながら、必要に応じて支援を検討する。

公立保育所においても、ICTシステムの効果について研究していく。



▲市内保育所



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 少人数学級にするために教員増をはかるべき

A 財源確保が必要で市費の教員増は困難



その他の質問

- ・放課後児童クラブのスペースと指導員の確保、および安全対策について
- ・コロナ禍で困窮を深める業者を救う対策を

- Q** 授業確保のためカリキュラム変更で詰め込みになっていないか。
A 学校でしかできないことを重視し時間割の工夫で詰め込みにならないよう指導する。
Q 少人数学級にするために教員の増員をはかるべきでは。
A 財源確保が必要で市費の教員増は困難。
Q 政府からの支援金が使えないのか。
A 今回、国の二次補正予算について検討し、県に要望していきたい。
Q 今年は夏休みのあり方も変わるため夏休み期間の給食提供が望まれるが、見解は。
A 8月の学校開始後に2日間増やして実施するが、夏場の給食調理室での作業は設備上困難なため、これ以上の実施は難しい。
Q 子どもたちの体と心のケアは。
A 健康診断は感染対策を講じ、年内に日程を分けながらすべて行い、心のケアはスクールカウンセラー等も活用。



▲市内の学校



中野 正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市のG I G Aスクール構想の整備計画は

A 令和3年1月からの配備を目標に進める



その他の質問

- ・彦根市立図書館に書籍消毒機の設置を
- ・冬場に風邪の症状が出た時の受診先は
- ・1人暮らしの学生・留学生への支援を

- Q** 彦根市のコンピュータ端末の整備状況は。
A 平成31年3月現在で、教育用コンピュータの整備台数は5.6人に1台である。
Q 彦根市はどのようにして整備を加速させるのか。
A 令和5年までに整備する予定だったが、G I G Aスクール構想の実現が加速されたので、1人1台端末の整備については、令和3年1月からの配備を目標に進める。
Q 教える側の指導体制の充実はどうしていくのか。
A I C T教育に専門的な知見を有する人材を活用し、I C T推進リーダーを養成する。
Q 支援を必要とする子どもへの整備は。
A 障害のある児童生徒が1人1台端末を効果的に活用できるよう、音声読み上げソフトや点字ディスプレイなどの支援装置についても、状況に応じ機器の整備を行っていきたい。



▲タブレットでの打ち合わせ
(対馬市立難知中学校)



森野 克彦議員
市民産業建設常任委員会

Q 夏季休業の短縮による熱中症対策は

A 適切な対応を講ずるよう指導する



その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・受動喫煙防止に向けた取り組みについて

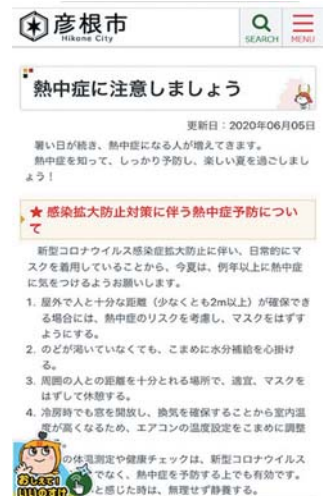
Q 夏季休業の短縮による熱中症対策は。

A 夏季休業の短縮により登下校時における熱中症のリスクが高まることが予想されるため、夏季休業の短縮期間は午前授業を基本とし、登下校時の熱中症を未然防止するための適切な対応を講ずるよう指導し、保護者や地域の方へ子どもの見守りを願う。

Q 給食実施で保護者の負担軽減はできないのか。

A 夏季休業の短縮による学校給食の実施については、食中毒の発生を防止するための食材の温度管理の作業工程が増え、回転釜付近での炒め物や汁物の調理は特に高温となるため、調理員の身体への負担も大きくなることから、食材の衛生管理上や調理員の健康管理上支障があると判断し、これ以上の学校給食の実施は困難である。

マスク着用による熱中症の注意喚起をする彦根市のホームページ▶



谷口 典隆議員
企画総務消防常任委員会

Q 市のコロナ対策スピード感ある対応できたか

A 市民からはスピード感に欠けるとのご指摘も



その他の質問

- ・新型コロナ対策にかかる予算や事業の提案時期は適切であったか
- ・市民に寄り添う対応はできているか

Q 新型コロナ対策で、彦根市は他市と比べスピード感のある対応ができていないのでは。

A 広報で実施したアンケートでも「スピード感に欠ける」とのご指摘をいただいた。

Q 休業要請の対象となっていない事業者への支援は。

A 「カタログチョイス事業」などに加え、「支援基金」の活用も検討していく。

Q 学校給食の食材納入業者への支援は。

A 4月以降分の発注済みの食材については全て支払い、食材納入業者に負担がないよう配慮した。

Q 寄附されたマスクを、基礎疾患や特定疾患をお持ちの市民らに配布すべきでは。

A 市中のマスクの供給状況に加え、寄附された方の意向も踏まえ、状況をみながら対応していきたい。



▲給付対象者1人につき10万円が支給された特別定額給付金の事務作業



辻 真理子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 裏合意で懲戒処分を受けた
職員の人事は

A 適材適所、事業の継続性・
内容を考慮した



その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症による市立病院への影響は

Q 本庁舎工事の現在の進捗状況は、工事予定と比較してどのようになっているのか。

A 令和2年5月末時点で進捗率を5.2%と計画していたが、現在5.6%の進捗率であり、当初の計画どおり進んでいる。

Q 第1期工事の責任者は川嶋副市長（当時）だったが、第2期工事の責任者は誰か。

A 第2期工事の責任者は、市長である。

Q 工程会議の市長への報告は。

A 毎月末時点の工事の現況については、月初めに市長へ報告している。

Q 裏合意問題で懲戒処分を受けた職員が第2期工事に関わっているが。

A 人事配置の基本的な考え方は、適材適所、事業の継続性・内容を考慮して任命権者の判断で行っている。



▲6月11日現在の本庁舎工事現場



林 利幸議員
企画総務消防常任委員会

Q 商工会へ補助は
考えているのか

A 具体的な要望や
支援要請があれば検討する



その他の質問

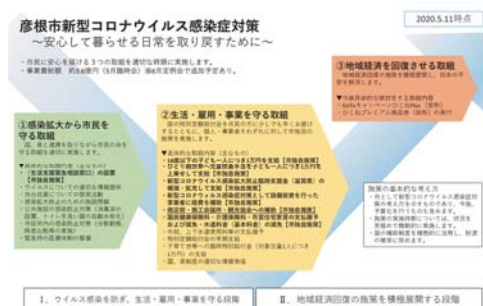
- ・JR稲枝駅西側地区の開発について
- ・JR稲枝駅周辺整備事業について

Q 新型コロナウイルス感染症対策として行う商工会議所・観光協会への補助とは。

A 商工会議所への補助については会員から徴収する会費を補助しようとするもので、例年会費を前期・後期に分け徴収されているが、減免された前期分の20%を補助する。観光協会への補助は、会員離れを防ぐとともに、観光協会の経営の維持を図るため必要な経費を補助しようとするもので、会費の減収分の1/2を補助。またイベント中止による減益見込み分を補填する。

Q 商工会への補助は考えているのか。

A 商工会議所に対し会費減免分を補助する事を提案予定で、その事を稲枝商工会に伝え同様の提案をしたが、県内の他商工会と未調整であった。今後具体的な要望や支援要請があれば検討してまいりたい。



▲彦根市新型コロナウイルス感染症対策



赤井 康彦議員
福祉病院教育常任委員会

Q コロナ禍での大学生、高齢者、自治会支援は

A 必要な支援を検討していく



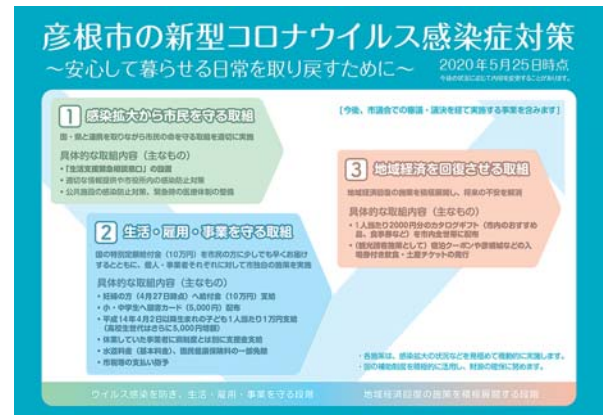
その他の質問

- ・図書カードは必ず子どもたちのもとへ配布を
- ・防災スピーカーの活用は
- ・ヌートリアやジャンボタニシの防除は

Q コロナ禍での経済対策は様々な対策を講じていただいているが大学生や高齢者、自治会に対しても支援すべきではないか。

A 本市にお住いの市民の皆様に対し水道料金の基本料金の4カ月分の免除や国民健康保険料の2カ月分の免除を行う他、2千円相当のカタログギフトの送付等の支援を行っていく。大学生や高齢者への支援は今後の状況なども踏まえ必要な支援を検討していく。

自治会への支援に対してはコミュニティ活動推進事業の感染症対策用物品の整備を補助対象に加えた。補助対象基本額を5万円以上で補助率50%、限度額10万円とし空気清浄機や手洗い器の自動水栓化等を想定している。



▲新聞折り込みされたコロナウイルス感染症対策のチラシ



伊藤 容子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 財政調整基金の残高の目安は

A 本市では最低でも約12億円の確保が必要



その他の質問

- ・新型コロナウイルス支援策について
- ・不用消防車両の寄贈先公募について
- ・彦根休日急病診療所について

Q 新型コロナウイルス支援策の選定基準は。

A 広報ひこねで実施した「緊急アンケート」等の結果より市民の声を聞き、それらの実現のために何ができるのか検討を重ね、国や県の支援とのバランス等も考慮し施策の選択を行う。

Q 財政調整基金の活用基準は。

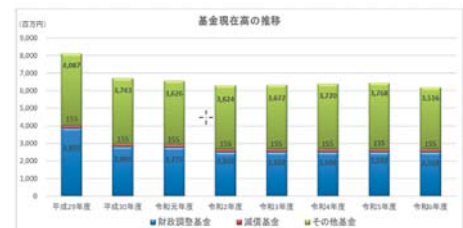
A 「彦根市財政調整基金の設置、管理および処分に関する条例」第6条に規定するものが活用基準となる。

Q 財政調整基金の残高の目安は。

A 標準財政規模の5%以上を残すことが望ましいとされ、本市では最低でも約12億円の確保が必要となる。

Q 市民の生活を守るための今後の財政調整基金の活用は。

A 本定例会の補正予算で財政調整基金から約8.5億円繰り入れ、基金残高は約13億円となり、今後の財源が確保できない分に対し活用する。



▲「彦根市中期財政計画」
平成29年度～令和6年度



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

**Q 全児童生徒1人 1台
タブレット端末の整備は**

**A 令和3年1月からの
配備を目標に進める**



その他の質問

- ・彦根市の新型コロナ感染症対策予算について
- ・生活保護の相談体制について

Q 長期間の学校臨時休校により、児童生徒に学習の遅れが生じているが対応は。

A テストの実施、授業中の様子の観察、家庭学習の取組状況等から評価して、子どもたちの学習状況をしっかりと把握する。また、各教員が、授業中に学習活動の支援に努め、学習指導員が、放課後、長期休業中に補習等を行うことで学力の定着を図る。

Q 彦根のすべての児童生徒に1人1台のタブレット端末の整備は。

A 彦根市においても、平常時・非常時における一律の学習環境を確保するため、すべての児童生徒の学習者用端末を整備することとしている。当初は令和5年度に整備完了の予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により予定が早まることとなり、令和3年1月からの配備を目標に考えている。



▲1人1台端末のイメージ



矢吹 安子議員
市民産業建設常任委員会

**Q 公立保育園から紙おむつ処理を
始めては**

**A 保護者、保育者双方
の声も聞き取り検討する**



その他の質問

- ・市職員のメンタルヘルス・ストレスチェックについて
- ・新型コロナウイルス感染症対策業務従事職員のメンタルヘルスについて

Q 保育所やこども園での使用済み紙おむつ処理の現状は。

A 布おむつ使用の園は2園、紙おむつを処理しているのは8園。

Q 使用済み紙おむつの処理に必要な経費はいくらか。

A 園児数約40名の園で乳幼児1人1カ月あたりの紙おむつの処理費用は375円である。

Q 保育所、こども園等で処理するメリット、デメリットは。

A メリットは、毎日持ち帰り処分する必要がないので、保護者の手に渡らず感染対策になる。また、保育者の心理的な負担軽減になる。
デメリットは、毎日の使用枚数把握ができない。保管場所問題や保護者に処分費用負担が生じること、徴収事務負担が発生する。

Q 公立保育園3園から使用済み紙おむつを処理する考えは。

A 保護者、保育者双方の声を聞き取り、検討する。



▲個々の使用済み紙おむつを保管



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 医療崩壊を防ぐため PCR検査の要望を

A 湖東圏域での 検査体制充実に向け調整中



その他の質問

- ・彦根市社会福祉協議会が南デイサービスの指定管理者を辞退することによる影響は
- ・地域福祉に責任を持つ市の対応は

Q コロナ感染症の拡大防止のためにとった市立病院内での対策は。

A 感染症患者と一般患者の動線や病棟を分離し、感染経路を遮断する対策を行った。

Q この間届いた市民の声は。

A 「手術を予約しているが、予定通り実施していただけるのか」など新型コロナウイルス感染症に対するご不安などの問い合わせがあった。

Q 市民へのPCR検査の体制は。

A 現状では、帰国者・接触者外来にて、その受診者や濃厚接触者にあたる方には検査がされているが、感染を心配する市民全員への検査は実施されていない。

Q 医療崩壊を防ぐためPCR検査の要望を。

A 現在、湖東圏域において、PCR検査センターの設置等検査体制の充実に向け、県が中心となり調整されている。



▲彦根市立病院での対策の様子



森田 充議員
企画総務消防常任委員会

Q 小中学校の感染症拡大防止 への環境づくりは

A 感染症対策ガイドラインに 沿って取り組む



その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症禍での避難所の受入れ体制は
- ・ドライブインシアターの開催、活用についての考えは

Q 小中学校の感染症拡大防止への環境づくりは。

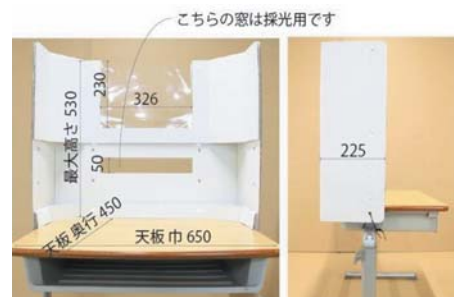
A 彦根市の感染症対策ガイドラインに沿って取り組む。

Q 夏場にマスク着用をストレスに感じる児童・生徒がいるのではないと思う。マスクを外して授業を受けられたらストレス軽減の一助に繋がると考える。飛沫防止パーテーションの活用は。

A 飛沫感染防止はもちろん、マスク着用によるストレス軽減に繋がると考えるが、対策として手洗いや換気等、他の感染症対策の実施をまず徹底し、費用対効果や先行導入している他市町での評価など情報を収集し今後、研究していく。

Q 一斉導入は難しいと思うがモデル校を作って飛沫防止パーテーションの効果確認をする考えは。

A 今後の感染状況を見ながら購入希望する学校があれば考えていく。



▲飛沫防止パーテーションのイメージ

政 務 活 動 費

政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。本市では、各会派（所属議員が1人の場合も含む）に対して、所属議員1人当たり年24万円を交付していますが、昨年度は改選があったため、下記表のとおり分かれています。

交付の対象は？

本市では「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、使途基準を条例（彦根市議会政務活動費の交付に関する条例）で定めており、基準に合致しない等の理由で政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、平成28年度分からホームページで領収書の公開も開始しました。

会派別一覧表（平成31年度4月交付分 収支報告書）（単位：円）

交付会派名	人数	平成31年度 4月 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額	執行率 (%)
公政会	8名	160,000	0	0	160,000	0.00
夢みらい	6名	120,000	0	0	120,000	0.00
公明党彦根市議団	2名	40,000	2,700	0	37,300	6.75
日本共産党彦根市会議員団	2名	40,000	26,199	0	13,801	65.49
無所属	3名	60,000	0	0	60,000	0.00
谷口のりたか	1名	20,000	116,964	96,964	0	584.82

会派別一覧表（令和元年度5～3月交付分 収支報告書）（単位：円）

交付会派名	人数	令和元年度 5～3月 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額	執行率 (%)
公政会	12名	2,640,000	2,648,889	8,889	0	100.33
夢みらい	4名	880,000	810,909	0	69,091	92.14
公明党彦根市議団	2名	440,000	420,752	0	19,248	95.62
日本共産党彦根市会議員団	2名	440,000	385,701	0	54,299	87.65
令和会	2名	440,000	436,700	0	3,300	99.25
明るい彦根市民の会	1名	220,000	179,212	0	40,788	81.46

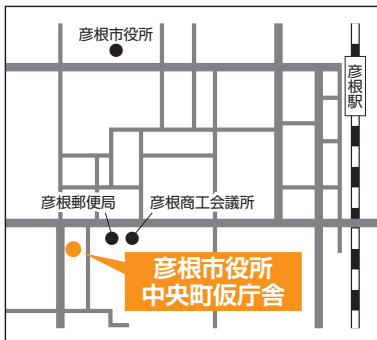
現在、本会議・委員会ともに 彦根市役所中央町仮庁舎で実施しています！

○期間

令和2年12月市議会定例会まで
(予定)
※臨時議会が開催されることとな
った場合も、同所で開催します。

○場所

彦根市役所中央町仮庁舎3階
(彦根市中央町2番26号)
※駐車台数に限りがありますので、
ご理解・ご協力をお願いします。



▲現在の本会議場

傍聴に関するお願い

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する
ため、当面の間、市議会（本会議、各委員会等）
の傍聴については、ご遠慮いただいております。

今後の状況につきましては、感染状況により
変更する可能性があるため、事前にこちら
をご覧ください。



<https://www.city.hikone.lg.jp/shisei/gikai/13/5781.html>

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお
願いいたします。

議員表彰

全国市議会議長会会長から、馬場和
子議員が15年表彰を受けられました。



編集後記

6月定例会では、
コロナ対策の補正予
算を含む35議案に
ついて審議しました。本定例会は、来年3
月完成予定の市役所本庁舎工事の影響で、
中央町仮庁舎にて新型コロナウイルス感染症予
防対策を講じての開催となりました。市民
生活の支援、子育て世代の支援、事業者の
支援など、彦根市の対策と支援、そして今
後の方針について、各議員からの一般質問
や委員会での質疑が行われ、迅速かつ手厚
い支援と対応が求められました。

また、今回で150号を迎えたひこね市
議会だよりは、様式も縦書きから横書きへ
とリニューアルしました。今後とも市民の
皆さまに寄り添った行政運営の監視と適切
な情報提供に努めてまいります。

広報委員会



次の定例会は **9月**です

月 日	内 容	時 刻
9月 7日(月)	開 会	9:00
9月14日(月)	代表質問 個人質問	9:00
9月15日(火)		
9月16日(水)		
9月17日(木)	予算常任委員会 福祉病院教育常任委員会 市民産業建設常任委員会 企画総務消防常任委員会 本 会 議	9:30
9月23日(水)		9:30
9月24日(木)		9:30
9月25日(金)		9:30
9月28日(月)		9:30
9月30日(水)	決算特別委員会	9:00
10月 7日(水)		9:30
10月 8日(木)		
10月 9日(金)		
10月14日(水)	閉 会	9:00